

平田中 地域学校運営理事会だより

「平田中学校区学校支援地域本部」

第3号 平成22年2月発行



平田中の底力

校長 儀満 利夫

椿から梅の開花へと春の訪れを予感させています。学校では1年のしめくくりを迎え、3年生の巣立ち行く日ももうすぐとなりました。

今年度は、夏から冬にかけて新型インフルエンザにピリピリし、振り回されたことを思い起こします。

よくやった3年生

3年生は、部活の大会や各種コンクールへ挑戦をしていく姿に、頼もしさが満ちあふれていました。お陰で島根県中学校体育連盟から年間総合成績で男子総合2位、女子総合2位、男女総合3位という輝かしい成績をあげ、表彰を受けました。音楽、美術や写真などの文化面でも数々の表彰を受けました。

生徒会活動のリーダーとしてカー杯盛り上げた体育祭、新型インフルエンザの感染予防のため会場全員がマスク着用という異様な雰囲気の中、ハイレベルのクラス合唱をした文化祭など見事な活躍ぶりでした。そして素晴らしい成果を残してきました。

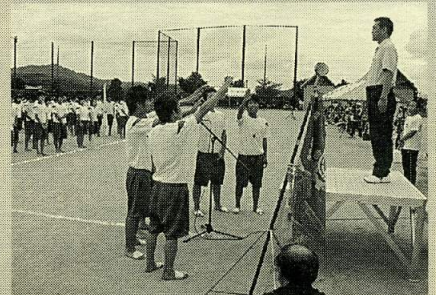


また、アルミ缶回収にも熱心に取り組みました。その収益は、2月に福祉施設への車椅子などの寄贈、ハイチ大地震被災地への寄付となって貢献することができました。

こうして、下学年は3年生に支えられ、充実した学校生活を送ることができました。

3学期に生徒会の引き継ぎをし、下学年の生徒たちは、3年生に対してそれまでの感謝の気持ちを表現し、立派にバトンを受け継いでいます。

巣立ち行く卒業生の皆さんには、何事にもチャレンジ精神をもち、豊かな人生を築いてくれることを願っています。

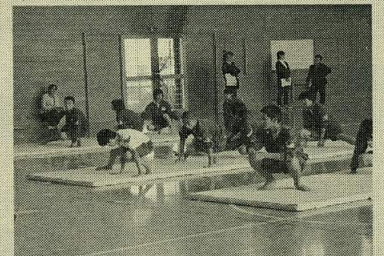


研究発表会で見た平田中の底力

この秋、新出雲市になって初めての出雲市教育研究会が、旧平田市内全小中学校を会場に開催されました。本校では、社会、数学、美術、保健体育、道徳の5つの授業公開をし、それぞれに分科会を開きました。肌で感じられる平田中の温かく和やかな雰囲気とともに、生徒たちの生き生きとした表情、一生懸命の姿を見ていただきました。

また、中四国音楽研究会が出雲市で開催され、本校は出雲二中会場へ出向いて、1年4組の授業公開、合唱部と吹奏楽部の研究演奏も請け合いました。どれも「素晴らしい」と絶賛の言葉をいただきました。全国的にもハイレベルな出雲市の音楽を皆さんに知ってもらおうことができうれしく思います。

実は、新型インフルエンザ流行によって、直前に他の参加校の休校・閉鎖が相次ぎました。そのため、本校の合唱部も吹奏楽部も予定にない急な要請がありましたが、立派に応えることができました。まさに平田中デーといっても過言ではありませんでした。



ピカリと輝く礼儀

11月、野球部は島根県で勝ち抜いて広島市であった中国大会に出場しました。その後から、山口県の中学校の先生からメールがきました。試合での攻守交代の素早さ、大会役員やたくさんの保護者、他県の人たちにも気持ちのよい挨拶をしている姿、仲間のバッグを4つも肩に担ぎながら移動する姿に、勝ち上がれなかったけれど出場校の中で一番の礼儀正しい学校、心も鍛えられたチームであると、お褒めの言葉をいただきました。

12月の下旬、剣道部は兵庫県であった総理大臣杯をかけた全国大会に出場しました。女子の3位、男子のベスト8の活躍も素晴らしいのですが、女子が礼儀作法の日本一として大きなトロフィーと共に表彰されたことも素晴らしいことでした。会場に入りするあらゆる人への明るい挨拶、気持ちのよい応援、いつもやる会場のトイレ掃除など、生徒たちは、一挙手一投足を大会実行委員によって評価され最優秀賞に至ったのです。平成22年夏に浜山で開催される剣道の全国大会に向け良い弾みとなりました。



保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援に感謝しつつ、次の飛躍へ意欲を燃やしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

